

第6回奈良県働き方改革推進協議会議事要旨

【経済界委員コメント】

- ・Web上で展示会開催、オンライン商談など、オンラインツールを活用していくことで業績を伸ばせる余地があると考えている。
- ・子育て、介護に柔軟に対応する、年次有給休暇を積極的に取得するなど、競争力確保のため、製造業として、より魅力のある働き方を提供できる環境づくりに取り組んでいる。
- ・2017年に健康経営優良法人の認証を取得するなど、安全健全な事業継続を目的に社員主体で取り組んだ結果、毎年4名を新卒採用することが可能となった。
- ・若い人に運送業に目を向けてもらえる環境づくりができたことが、働き方改革の取組の成果。
- ・コロナ禍以前より説明動画や業務フローをクラウド上で管理していたこと、定期的に先輩社員とのWeb面談を実施していたことにより、新卒者でも無理なく仕事を進めることができた。
- ・フレックスタイムの導入など、社員がより働きやすい環境づくりに力を入れており、毎年多くの学生の方に興味を持って就職していただき、定着していただいている。
- ・コロナ禍でスタッフの社員教育、研修などWebが基本となっており、働き方の変化についても社員の評判は上々。

【労働界委員コメント】

- ・コロナ終息後もテレワークは進んでいくと思うが、実施時の時間管理、健康管理が課題。
- ・テレワークの推進で、通勤時間を気にせず時間の有効活用が可能、家事・育児の分担が可能との声がある一方で、オンオフの切替が難しい、非正規社員は出社を余儀なくされているとの課題もある。
- ・全ての社員が生き活きと働ける職場づくりについて、労使で働き方検討委員会を立ち上げ議論しているところ。
- ・場所によらない働き方も検討しており、どこに住んでいても業務ができることを目指している。
- ・社員の勤務体制の変化では、時差出勤、在宅勤務を推奨しているほか、負担軽減のため、ネットワーク環境手当を支給。

【知事コメント】

- ・コロナとテレワークという流れを踏まえて「働き方」をどうするのがメインテーマ。
- ・外国人の労働力をいかに活用するかが大事なことであり、奈良で働く外国人の生活の安定につながるような人材教育も行っていきたい。
- ・職場を良くすると良い人が集まるとというのが基本であり、テーマ別では、女性にとって働きやすい職場は全体にとって働きやすいこと、若者にとって働きやすい職場は離職を減らすことにつながるのだと思う。